



ロータリー：  
変化をもたらす

Rotary International District 2800 2017-2018

## GOVERNOR'S MONTHLY LETTER vol.9

地区目標

美しい心、ロータリアンの矜持  
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～

# ガバナー月信 第9号



2月25日(日)大江RC主催 [Let's Enjoy with English vol.3]  
青少年交換学生、ローテックス、次年度派遣学生もお手伝いし、ミミ外国が展開された。

### CONTENTS

- ガバナーメッセージ
- 国際協議会報告  
  会員増強コーナー
- 国際奉仕コーナー
- ガバナー公式訪問
- 青少年交換学生月次報告
- インターアクトのコーナー  
  米山奨学生レター
- 2017-18年度 ガバナー賞の選  
  定基準
- RI会長賞の進捗状況
- 出席率  
  ロータリー情報のコーナー
- 新入会員紹介  
  表彰関係
- 3月のスケジュール

# 3



国際ロータリー第2800地区  
2017▶2018年度

◇ガバナー/鈴木一作  
◇R.I.会長/イアン H.S. ライズリー  
◇R.I.理事/斎藤直美、石黒慶一



### 親愛なる会長・幹事・ロータリアンの皆様へ

2017-18年度 国際ロータリー第2800地区 ガバナー 鈴木 一作

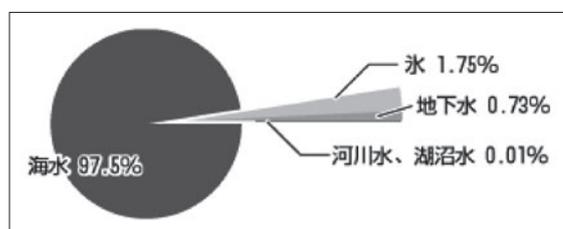
RIテーマ **ロータリー：変化をもたらす (ROTARY: MAKING A DIFFERENCE)**

地区目標 **美しい心、ロータリアンの矜持 ~修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動~**

3月は「水と衛生月間」です。言うまでもなく、人類にとって「水と衛生」は最重要のテーマです。水がなければ動植物は生きていけません。汚れた水や不衛生な環境は、感染症や下痢を引き起こすだけでなく、教育の効率化を妨げ、産業の発展まで阻害します。

#### ◆地球上で使える水は、0.01%未満

地球は「水の惑星」と呼ばれています。しかし、地球にある水の97.5%は海水で、淡水はわずか2.5%です。しかも、この淡水の大部分は南極、北極、山間部などの氷や氷河として凍っています(1.75%)。凍っていない淡水のほとんどは地下水(0.73%)ですが、半分以上は地中深くにあって利用できません。したがって、人間が容易に使える水は帯水層など浅い層にある地下水、河川と湖沼の水ですが、そうした水も汚染されている場合が多く、実際に使える水の量は地球全体の0.01%未満です。もちろん、それらの使える水を実際に飲み水として使うためには、井戸、雨水貯水、水浄化などの水インフラ整備が必要です。



#### ◆世界の現状

3月22日は「世界水の日」です。蛇口をひねれば飲み水が出てきて、寒い冬でも暖房付きの温水洗浄便座トイレで用を足している日本人には、「水と衛生」問題と言っても、今ひとつピンとこないかもしれません。しかし、大災害時に想いを馳せれば、決して人ごとではないのです。阪神・淡路大震災では、発生直後の避難生活者は約30万人。今年11日で丸7年が経過する東日本大震災では、約45万人でした(本年1月現在の避難生活者は7万6千人)。いずれの大震災でも発生から長期にわたり、断水や停電、給配水管の損壊等によって飲料水は不足し、多くの水洗トイレが使用不能となりました。ところが、世界に目を向ければ、この大災害時の、いやそれよりも劣悪な「水と衛生」環境が日常である地域は少なくないのです。

ユニセフ(国連児童基金)とWHO(世界保健機関)によれば、2015年時点で、世界では21億人(世界人口の3割)が安全に管理された飲み水を自宅で使用できず、1億5900万人は湖や河川、用水路などの未処理の地表水を使用しています。また、45億人(同6割)が安全に管理された衛生施設(トイレ)を使用できず、うち8億9200万人以上は道ばたや草むらなどで屋外排泄をしています。こうした状況下で、安全な水やトイレがないために感染症や下痢を患う子供があとを絶たず、そのせいで、5歳未満だけでも毎日約1000人が亡くなっているのです。

#### ◆国連とロータリーの取り組み

2015年、国連は貧困と福祉問題に取り組むために「持続可能な開発目標」を設定しました。その目標の一つが、「すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」です。ロータリーも「2030年までにすべての人に安全な水と衛生設備、衛生環境を提供する」という目標を掲げ、井戸や雨水貯水システムの設置、水浄化プラントの設置、水設備管理の研修など、水と衛生関連の取り組みを行っています。

#### ◆天童東RCのグローバル補助金事業

この度、天童東RCとタイのバンコクスリウォンRCが「タイの子供たちにきれいな水を」というグローバル補助金事業を行うことが決定しました。タイの学校に浄水器を設置・贈呈するもので、天童東RC赤塚弘實会長ご夫妻はじめ同クラブ会員らが、贈呈式のために2月19日~23日にかけてタイに行かれました。実現に向けてご尽力くださった地区の武山茂社会奉仕委員長、遠藤隆一国際奉仕委員長、PG新関彌一郎ロータリー財団委員長に、心から感謝申し上げます。こうした取り組みは、博愛人道の面だけではなく、日本の責務・使命・将来という観点からも、私は意義深い事業だと思っています。

## ◆日本は水の大量輸入国？

地球の人口は増え続け、水の需要は増えています。実際、世界の水使用量は1950年で1369億トン、1995年は3752億トンでしたが、2025年には5139億トンに達し、まもなく世界的な水不足の時代に入ると言われています。ちなみに世界の水利利用の用途は、飲料水を含む生活用水（料理、洗濯、洗面手洗い、風呂、トイレなど）が全体の8%、農業用水が70%、工業用水が22%です。言うまでもなく、食糧や工業製品の生産には大量の水が必要です。例えば、精米後の米1kgを作るのに約8t、牛肉1kgに対して700~800tもの水が必要となります。したがって、水不足は飲料水だけではなく、人間生活を支える生産活動全般にも大きな影響を及ぼすのです。しかも、今の日本は世界有数の水の輸入国です。つまり、農作物、肉類、工業生産品の輸入を通じて、日本は他国の水資源を「大量に使っている（購入している）」のです。その水量は、日本国内における実際の水利用量800億トンに匹敵します。

## ◆日本は水が豊か？

もう一つ、考えるべきことがあります。日本の年間平均降水量は世界平均の約2倍ですが、人口1人当たりの年間降水量に換算すると、世界平均の1/4しかありません。なんと、サウジアラビアと同程度です。しかも、日本の河川は急流ばかりです。人口の大都市集中に伴い、貯水機能を持つ山の森林は管理が行き届かなくなり、水田も減り続けています。一方、日本には農業用水、工業用水、水道用水に関する約1900カ所の専用ダムの他に、約800カ所の多目的ダムがありますが、人口1人当たりのダム貯水量はアメリカの1/17、韓国の1/16です。年によっては、渇水に見舞われる地域も少なくありません。また、人が暮らしていくには1日100リットルの生活用水が必要と言われていますが、日本人は約300リットルも使っています。これは、米国に次いで第2位で、世界平均の約2倍です。その一方、20リットルにも満たない量で生活している国は30以上もあるのです。要するに、日本は水が豊かではないのに、水を豊かに使っているのです。

## ◆21世紀は水紛争の時代

元世界銀行副総裁イスマイル・セラゲルディン氏は、「20世紀は石油紛争の時代だったが、21世紀は水紛争の時代になる」と言いました。水危機が叫ばれる中、日本が新たな国際紛争の標的になる日は、そう遠くはないような気がします。それだけに、日本国内と海外の両面において、少ない淡水の効率的な利用拡大が喫緊の課題です。日本は、これまで急激な人口増加と経済発展を遂げてきました。その過程で、上下水道の設置とともに、水不足、水質汚染、洪水災害などを防止するための技術開発や制度整備を進めてきました。これらの知恵と経験、そして経済力を、今後急激な人口増加と経済発展を迎える開発途上国の「水と衛生」問題に役立てることが大切なのではないのでしょうか。

## ◆日本の責務・使命・将来

水の効率的な利用拡大という点で、国際的な貢献を果たしてきた日本人は少なくありません。最近ではアフガンの中村哲氏、古くは台湾の八田與一氏、鳥居信平氏などが挙げられます。七難八苦や艱難辛苦という言葉を聞くと山中鹿介幸盛を思い出す人も多いでしょうが、私は彼ら3人の名前が脳裏に浮かびます。「水と衛生」問題で日本の責務・使命・将来を考える時、日本と世界の現実を正しく認識することはもちろんですが、彼らの「命の使い方」を、特に日本の若者には知っておいて欲しいと思いますし、我々はそれを伝えられる大人でありたいと思うのです。

### ////////// ガバナーの想い //////////

#### 世界ローターアクト週間 (World Rotaract Week)

1993年、RI 理事会はローターアクト創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に指定しました。具体的には、世界中のRCに対して地元のローターアクトクラブとの共同プロジェクトや親睦活動と呼びかけています。それによって、ロータリアンは若いエネルギーや新しいアイデア、労力を得ることができますし、ローターアクターは深い知識や経験、喜びを得るのです。

2800地区におけるローターアクトクラブの提唱クラブと地区委員の皆様には、心から敬意を表します。私自身、これまでローターアクターとの会議や研修、交流などを通じて、彼らの学びと意欲の喚起、達成感の向上、一体感の醸成に努めてきました。それらを通じて思うことは、「彼らに最も大切なことは、地元のロータリアンとの交流と親睦である」、すなわち「仲間意識の昂揚」の重要性です。しかも、それは地域の成長と発展に繋がることでもあるのです。それだけに、クラブの奉仕プロジェクトや親睦活動に、ローターアクターをはじめとした青少年の参加・協力をお願いします。機会があれば、上述の中村哲氏、八田與一氏、鳥居信平氏らを例に挙げながら、価値ある「命の使い方」を話題にした会長スピーチで、彼らを迎えていただければと思います。

## 国際協議会報告



ガバナーエレクト  
**上林 直樹** (酒田中央RC)

2018年1月14日～1月20日、米国カリフォルニア州サンディエゴでの国際協議会へ夫婦で参加してきました。パストガバナーの方々からは、「寒いからホッカイロヤセーターを持って行った方がいいよ」と言われましたが、サンディエゴ到着時の気温は26°と少し暑いくらいでした。空気は乾燥していて過ごしやすかったのですが、ホテル内はエアコンのおかげで少し寒いくらいでした。

本会議、分科会の6日間の期間中、日中はホテルからは一歩も出られず、ストレスが溜まりましたが、早朝に女房とダウンを着て散歩をして、夜明けのサンディエゴを満喫しました。

我々男性は観光も一切無しでしたが、奥様たちは半日だけの自由時間にホテルの前から電車に乗り、メキシコ方面に行って、とても楽しかったと言っておりました。

国際交流の場での日本コーナーでは、女房が世界の平和のために折った千羽鶴2千羽と子供の成長を願う傘福を飾りました。来年も展示するとのことでした。

バリー・ラシン会長エレクトが提唱する次年度R I テーマ「インスピレーションになろう (BE THE I NSPIRATION)」の発表を受け、分科会ではこのテーマについて喧々諤々でした。帰国後に改めて調べてみたら、「奮い立たせる、鼓舞する、触発する」という意味でした。石黒R I 理事は、「勝海舟が氷川清話で言っている『時勢は人を創る』と共通するのではないか」とおっしゃっています。



“ポール・ハリスが述べたように、「ロータリーは世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデル」です。私にとってロータリーは、単なる「モデル」ではなく、インスピレーションです。ロータリーは可能性を指し示し、そこに

到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための道を拓いてくれるのです。”

バリー・ラシン会長エレクトの出身国バハマは海拔1 mということで、2100年には約2 mも水位が上がるということ。ということは、早晚、国が水没して無くなるのではないかと大変深刻な問題だと思いました。

今回、国際協議会に出席して、改めてロータリーというのは実に素晴らしい団体で、世界のために良いことをしてきた団体であると再認識し、責任の重さに身の縮まる思いで帰ってきました。

バリー・ラシンR I 会長エレクト  
『世界を変える行動人』になろう！

上林直樹ガバナーエレクト  
『パフォーマー』（表現活動者）になろう！

## 会員増強コーナー



会員増強委員会 委員長  
**坂部 登** (山形西RC)

～仲間を増やそう！声をかけていますか！～

クラブの健康チェックはいかがですか。年齢別構成、在籍年数、職業分類などのデータを参考に、バランスの取れたクラブづくりを提案しましたが、その後うまくいっていますか。

今年に入って、もう2ヵ月が過ぎました。いろんな方にお会いになり、あの人が私たちロータリアンの仲間になってくれたら、そう感じた方にたくさん出会ったことと思います。

クラブで会員増強を担当する委員会は、そんな情報を積極的に集めていますか。具体的なお名前を聞いていますか。会長、幹事を含めた委員会で、お名前が挙がった方に入会を勧める作戦を立てましょう。数人で食事にお誘いし、社会奉仕や職業奉仕など、ロータリーの話をしてはいかがでしょうか。例会に招待するのも良い方法です。

鈴木一作ガバナーは、「ロータリーは、①ロータリアン同士の友情を基盤に、②価値ある奉仕をしている、③立派なロータリアンを育てている」と述べています。そんな素晴らしいロータリーにあなたがお誘いを受けた時の気持ちを、ぜひ思い出してください。ロータリーへの入会を勧められることは、とても嬉しいことであり、光栄なことでもあるのです。

昨年のスタート時点から、会員純増1名が目標です。今年度もあと4ヵ月です。景気も少し回復しているようですし、会員増強に追い風になっています。今がチャンスです。目標を達成しましょう。



国際奉仕委員会  
委員長

遠藤 隆一 (山形中央RC)

国際ロータリー第2800地区、2017-2018年度の事業は、鈴木一作ガバナーの指揮のもと、既に半年以上に亘って活動が進められています。

## 鈴木ガバナーの具体的方針

国際奉仕事業に関する鈴木一作ガバナーの活動方針は、例年以上に明瞭なものになっています。先ず国際奉仕プロジェクトの意義や内容について、ロータリアンの理解と周知に努めることとあります。各クラブで実施可能な国際奉仕プロジェクトの具体例の調査、周知に努め、地区補助金やグローバル補助金の活用を含めて実施を奨励するとの指示です。参考として、鈴木ガバナーが提案されている事業例を列記してみると、①地元在住外国人を招いての「地元の歴史と食文化」交流イベント、②地元在住の外国人を招いての「異国の踊りと食文化」交流イベント、③米山奨学生や青少年交換留学生らによる多文化交流イベント、④地元のALT（外国語指導助手）による例会講話などです。特に①②③については、地元の小中学校と連携するとさらに効果的でしょうし、ロータリーの公共イメージの向上にも繋がるものでしょう。これらの鈴木ガバナーの提案は他地区でも採用され、好評を博しているそうです。ぜひ、チャレンジしてください。



(山形中央RC)

## 情報発信の重要性

私は、こうした国際奉仕事業に関係するような記事が新聞等に掲載されると、嬉しくなってスク

ラップしております。それだけに、各クラブからの情報発信もよろしくお願いいたします。各クラブの国際奉仕活動が新聞、テレビ、市報や町報、タウン誌、ロータリーの友、Facebookなどで情報発信され、My Rotaryの「ロータリーショーケース」やロータリー公共イメージ向上作戦「BOX」へ投稿されることによって、多くの方々がロータリーの活動について認識を深めてくれるものと考えています。加えて、鈴木ガバナーは「RI会長賞をすべてのクラブで受賞しよう」との目標を掲げておられます。これらの情報発信活動はRI会長賞の取得にも関係してきますので、宜しくをお願いします。

## ロータリー友情交換事業

それから、これまではあまり馴染みがなかったかもしれませんが、ロータリー友情交換事業（Rotary Friendship Exchange）について周知に努め、奨励するとのガバナー提案もあります。ロータリーメンバーが個人でも参加できる国際奉仕活動の一つとして、地区国際奉仕委員会としても検討、協力していきたいと考えています。希望があれば、ぜひご連絡ください。実現に向けて、精一杯のお手伝いをさせていただきます。



(寒河江RC)

## 例会卓話依頼と身近な国際交流を

以上の内容については、例会卓話の依頼も大歓迎です。いずれにしても、先ずは身近な国際交流から活動していくことが肝要かと思います。それが、次へのステップ、発展へと広がり、「ロータリーの目的」の第4項の達成に繋がっていくのです。

## 寒河江RCを語る

来訪日：2018年1月11日(木)  
会長：安孫子 新市



寒河江RCは、山形RCをスポンサーとして1959年9月10日、25名で県内8番目にスタートしました。今年で59年目を迎え、会員51名でクラブ運営を行っています。クラブ発足当時から『手続要覧』に沿った厳格なクラブ運営に努めるとともに、例会の充実、会員相互の親睦を深め、奉仕の理想の実現を目指しながら、地域に根差した意欲的で活発な活動を続けてまいりました。

我がクラブの自慢の一つは、長年に亘る青少年交換留学です。昨年度はブラジル、今年度は台湾、次年度はフランスとの派遣・受入れです。この度、これらの国際的な青少年活動の継続が「寒河江市のPRに貢献している団体」として、寒河江市から表彰を受けました。

さて、寒河江クラブはRIテーマ『変化をもたらす』の推進・実践のためにも、また『ロータリーの論理と実践』の追求のためにも、組織内部環境(クラブ管理能力)＝①リソース(人・金・もの・こと)×②プロセス(段取り)×③商品(サービス・商品＝各委員会活動)×④ガバナンス(内部統制・不正防止)×⑤自律性(会員全員がロータリー理念の価値を共有し、その実現に向かう活動の中で自己の役割を認識しながら自律的に行動し、ルールや決定事項を自然と守れる状態)の5つの視点から、クラブ運営及び各委員会の計画と実践の検証を心がけています。その上で、今年度のクラブスローガン「不易流行(守るべきは厳格に守り、変えるべきは迅速に変える)」を大切にしながら、『創新という変化』に繋げていきたいと考えています。

特に今年度は、鈴木一作ガバナー輩出クラブとして、会員一丸となってクラブ例会や各委員会事業の充実・チャレンジ・検証に努めながら、RI会長賞を獲得すべく、邁進しているところです。

鈴木ガバナーは、会員スピーチの重要性を訴えています。会員スピーチは本人の伝達能力の向上だけでなく、聞き手の理解能力(聞く・聴く・訊く)の向上にも繋がります。まさに自分を伝え、相手を知り、互いの敬愛の中から生まれてくるもの、それが会員同士の親睦です。今後も会員同士の親睦の中で誰もが自己研鑽・切磋琢磨に努めるとともに、右手はクラブ活性化と地元へ密着した事業、左手は国際交流という二刀流で、伝統の寒河江RCの歴史に新たな1ページを創ってまいります。



## 河北RCを語る

来訪日：2018年1月15日(月)  
幹事：村岡 功

【雛とべに花の里 かほく】河北町は、清流寒河江川と最上川との合流地点の北側、山形盆地のほぼ中央に位置します。歴史と伝統を尊び、きれいな水と自然が豊かな街です。県外の友好クラブは、石川県の石川河北RCです。寒河江さくらんぼRCと西川月山RCとは、毎年1回ずつ夜の合同例会を行っています。

我がクラブの自慢の活動を紹介します。毎年4月には、河北RC主催の「ベニバナ杯」中学校野球大会を開催しています。県内外から十数校が参加し、4つのグラウンドで2日間にわたって行う大会です。27年目の今回は、東日本大震災の被災中学校からも参加予定です。6月には、今回で24年目の献血例会を行っています。2016年には県知事表彰、2011年には献血運動推進全国大会で常陸宮殿下より銀色有功章をいただきました。8月は、精神障害者の総合的生活支援施設(みやま荘)の盆踊り大会への協力です。今年はおき水を販売し、施設に売上全額を寄付しました。また、陸上自衛隊第6師団とは、神町駐屯地への職場訪問例会や蕎麦・芋煮例会での交流を行っています。さらに、早朝例会として谷地中央公園の清掃や最上川河川敷のゴミ拾いなどの活動もしています。

河北RCの例会は、毎週月曜日、正午に谷地紀の代寿司本店で食事をしてから始まります。ぜひ一度、メイクにいらしてください。今後とも、例会では皆で色々な話し、生きたお金を使い、そして汗を流しながら、河北RCの伝統を守っていききたいと思います。



## 寒河江さくらんぼRCを語る

来訪日：2018年1月23日(火)  
幹事：芳賀 正洋

我がクラブの自慢は、なんと言っても「和」です。若いメンバーもチャーターメンバーも、心のこもった握手から例会が始まります。また、「寒河江さくらんぼの真骨頂は懇親会」と自画自賛するほど、親睦委員会の主導で行う新年会、観桜例会、納涼ビアガーデンは大いに盛り上がります。しかも、会員は非常に懐が深いというか、寛容というか、優しさに溢れています。歴史あるクラブは相応の厳しさがあるのが普通ですが、若いメンバーの声にも耳を傾け、優しく指導してくれます。近年、若いメンバーが多くなってきた主たる理由であることは間違いありません。



自慢の奉仕活動としては、今年度で19回目の「青少年野球大会」をはじめ、継続的に実施してきた知的障害者授産施設「寒河江共労育成園」との交流事業があります。

鈴木一作ガバナーの公式訪問では、長時間に渡る熱心な講話と様々なご指導をいただきました。R I会長賞取得のアドバイスも非常に参考になり、心より感謝を申し上げます。

最後に、当クラブは本年4月に設立30周年を迎えます。これまでの先輩諸兄の思い、大沼会長が掲げる「祝おうロータリー 明日に生きる奉仕で輝きを」、そしてロータリーの理念である「奉仕」を常に念頭に置き、メンバーの「和」を大切にしながら、希望溢れる未来に向かってロータリー活動に邁進してまいります。



## 大江RCを語る

来訪日：2018年1月30日(火)  
幹事：公平 善啓



大江RCは昭和42年(1967年)6月18日の創立以来、今年で51年になります。第4ブロック内で寒河江ロータリークラブに次ぐ歴史と伝統のあるクラブで、これまで2000-2001年度の伊藤巳規男氏のガバナー就任をはじめ、分区代理、ガバナー補佐、多数の地区委員(海野健治、伊藤篤市、藤野和男、大泉みどり等)を送り出しています。さらにアメリカ、オーストラリア、タイとの交換留学生、アメリカへのGSE派遣、イタリアへの財団派遣学生、そしてここ8年に亘る米山奨学生の世話クラブとしての実績があります。

現在会員数は17名ですが、会員個々の士気は高く、ガバナーを出したクラブであるという誇りと活気は未だ衰えず、ロータリー精神を受け継ぎながら、例会の出席率もブロック内で上位を占めています。なにより会員同士の友情、繋がりが強く、仲間意識も高く、さらに同伴者を含む家族の理解、協力もあって、いわゆる少数精鋭であるとともに、居心地の良いクラブである



ると自負しております。

忘れてならないことは、これらを支える例会場としての割烹「きくや」の存在です。ご主人でロータリアンでもある菊地正憲氏の奉仕の精神の賜物であり、食事をする場所と例会場が別々に設定されていて、食事毎毎回違ったメニューで、しかも美味しいとの評判が高く、コーヒー付のアフターミーティングの場所(壁にはロータリーのポスターが貼られ、机にはガバナー月信とロータリアンの友も置いてあります)まで提供していただいていることは、我がクラブの自慢であるとともに、他クラブからも羨望的になっております。



# 青少年交換学生 月次報告



菊地 真穂 さん

- 派遣国：台湾
- ホストRC：斗南
- スポンサーRC：寒河江

交換学生としての台湾での生活もあっという間に半分が過ぎ、残り約5か月となりました。1月後半には、11月から毎週土曜日に他の交換学生らと一緒に練習してきたダンスをお寺のお祭りで披露しました。女子は台湾の赤い服を着てランタンを両手に持ちながら、男子は青い服を着て色々な国の大きな国旗を振りながら踊りました。曲は、台湾、中国、韓国、メキシコなど、国際色豊かです。ダンスは覚えるのが大変でしたが、とても楽しくて、いい経験をすることができました。あと2回、ダンス披露の機会をいただいていますので、お祭りを盛り上げられるように練習を頑張ります。

台湾の学校は、1月後半から1か月の長い冬休みが始まりました。学校に行けなくて友達に会えないのは少し



悲しいですが、この休みの期間を利用してしっかりと勉強に取り組みたいと思います。冬休みの間は図書館

に行き、中国語の勉強をしている日が多いです。中国語の他にも、色々な国の交換学生からポルトガル語、ドイツ語、韓国語、スウェーデン語、スペイン語など、出身国の言葉を教えてもらい、少なから話せるようになりました。他国の交換学生は日本のアニメを見て日本語を覚え、少なから話することができる人もたくさんいます。彼らは日本のアニメが大好きで、アニメについてよく知っています。それにしても、台湾で色々な国の言葉を学べるとは思ってもいませんでした。それも、沢山の国から沢山の交換学生が来る台湾だからこそと思っています。せっかくの機会なので、色々な国の言葉をもっと覚えていきたいです。また、あと2か月後に迫った中国語スピーチコンテストの練習もしっかり頑張ります。

ホストファミリーとは、紅葉を見に行ったり、山登りに行ったりしました。台湾は1月でも紅葉を見ることができます。台湾の景色は本当にきれいです。ホストファミリーだけではなく、ロータリーの方々から連れていってもらうことも多く、本当にありがたいです。常に感謝の気持ちを忘れなうように心がけ、そして感謝の言葉をしっかりと伝えられるようにしていきます。残り5か月という短い間ですが、沢山のことを学び、少しでも成長できるように努めていきます。



沈 予媛 さん

- 出身国：台湾
- ホストRC：寒河江
- 高校名：山形城北高等学校

私は、4回目の日本です。今回は10か月の長期留学生活だから、本当に嬉しいです。

日本のお祭りにたくさん参加しました。徳内祭り、花笠祭り、大曲花火大会…。日本の文化を知って、一緒に参加することができました。おもしろかった。花笠祭りでは、私は初めて着物を着て、皆と一緒に踊りました。ちょっと歩きにくかったけど、心の中はすごく嬉しいです。この後、私の写真は新聞に載りました。ちょっと恥ずかしいなー。

ホストのみなさんは、めっちゃやさしいです。みんなが私におやつ、くだものとアイスをくれるから、私の体重はますます重くなった。学校生活もおもしろい。雪がある時、雪合戦をします。部活は弓道をしています。毎日とても疲れますが、頑張ります。

今年もたくさん経験すると思います。これから、よろしくお願いします。



## 青少年交換学生 月次報告



Nyárádi Natália

- 出身国：ハンガリー
- ホストRC：酒田中央
- 高校名：羽黒高等学校

皆さん、こんにちは。最初の佐藤ホストファミリーでは、いっぱい楽しいことをしました。例えば、仙台で楽天の試合を見ました。お陰でホームシックになりませんでした。羽黒高校では友達で沢山できました。先生たちから日本と日本語のことを沢山教わり、私も自分の国のことを皆さんに教えました。この学校のおかげで、私の日本語はとても上手になりました。まだ完璧ではないですが、これからも頑張りたいと思います。



日本に来る前から剣道をしていたので、羽黒高校ではすぐに剣道部に入りました。練習は、最初きつかったです。でも、一級と初段をとることができて、私の剣道は前より強くなりました。10月4日から、競技かるた部にも入りました。毎週一回、月曜日に練習します。まだ全部の札を覚えていません。目標は、全札でゲームができるようになることです。

11月2日は、私の誕生日でした。この日に、西村さん家に引っ越しました。佐藤さんたちと西村さんたちと一緒に焼肉を食べ、美味しいケーキとプレゼントをもらいました。冬休みには银山温泉へ行き、お正月にはお餅を作って、夜は神社とお寺にも行きました。1月6日からは東京です。最初の日に渋谷、原宿、明治神宮、次の日は江ノ島へ行きました。素敵な富士山が見えました。それから、秋葉原のお店とメイドカフェ、浅草寺、Sky Tree にも行きました。

この5ヵ月は、とても楽しかったです。ロータリーの皆さんに感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。 Köszönöm Szépen!



## RYLA参加協力をお願い



RYLA小委員会委員長  
前田 昌信 (長井RC)

皆さんは、RYLAをご存知でしょうか？ ライラ (RYLA) とは、Rotary Youth Leadership Awards (ロータリー青少年指導者育成プログラム) の頭文字です。このプログラムの目的は、異なった職業に従事する青少年達が共同生活を通じ、心を開き語り合い、研修し親交を深めることで、より良き社会人として、また明日をリードする指導者として更に成長することを狙いとしています。また、ロータリアンにとっては、青少年と行動を共にすることで若者との理解・共感の場であるとともに、未来のロータリアンを自分たちの手で育てることが出来る唯一の機会でもあります。それだけに、鈴木一作ガバナーも遠藤伸一青少年奉仕委員長も、RYLAには強い思い入れを持っています。我々委員全員も一丸となって、実りあるRYLA実現に向けて取り組んでいます。

つきましては、下記の要綱によりRYLAを開催いたしますので、各クラブより最低1名、できれば2名以上の若者を参加させてくださるよう、お願い申し上げます。なお、ロータリアンの同行・見学（無料ですが、宿泊を伴う場合は実費負担）も大歓迎です。また、郵送したRYLAのポスターを例会場に掲示するとともに、例会時にはRYLAの意義を話題にした会長挨拶をぜひともお願いします。何卒、ご高配ご協力のほどお願い申し上げます。

(RYLA参加は、RI会長賞とガバナー賞の取得条件にも関係します)

### テーマ ~気づき~

【開催期間】2018年6月2日(土) 10時30分  
~3日(日) 12時

昼食後解散(1泊2日)

【場所】田代地区多目的交流館『学びの里 TASSHO』  
(旧寒河江市立田代小学校)

【参加対象】18歳~30歳前後の若者男女、  
ローターアクトクラブ会員

【登録料】一人 5,000円

【内容】次世代を担うリーダーシップ研修

- 自信：元気、やる気、本気  
遠藤 伸一(青少年奉仕委員長)
- 愛：バースカフェ ~生まれる~  
鈴木多鶴子(ガバナー令夫人)
- 志：先生、日本ってすごいね!  
服部 剛(中学校教師、神奈川県在住)
- その他：鋭意検討中

【締切日】2018年4月16日(月)：申込書は各クラブへ別途郵送

## インターアクトのコーナー

### 羽黒高等学校インターアクトクラブ

(スポンサークラブ：鶴岡東)

羽黒高等学校インターアクトクラブは、生徒会活動として学校行事の運営を行いながら、地域のボランティア活動に力を入れて取り組んでいます。

毎年恒例の羽黒山石段マラソン全国大会では、ランナーに給水を行ったり、ゴールした方に食事をふるまったりしています。本校は遠方から登校している生徒が多いだけに、地域の行事に貢献しながら地域の特色も学べる貴重な機会になっています。



また、赤い羽根共同募金の取り組みでは、地元のスーパーで街頭募金活動を行っています。地域住民の方々の温かさに触れることで、むしろ協力をお願いしている生徒たちの心が育まれる、まさにボランティア活動の醍醐味を感じることができます。

地域社会との繋がりや我々自身の貢献を実感することで、生徒は日々成長しています。もちろん、力を入れて取り組んでいけることは他にもたくさんあるので、さらに活動の幅を広げていけるように頑張ります。インターアクト年次大会のホスト校にもなっておりますので、今まで以上にスポンサークラブとの繋がりを深め、今後も活動に邁進していきます。



## 米山奨学生レター

vol.10

山形大学 修士課程1年  
ゴンドルフ, マリエッタ  
ニョンブアンラ (ベナン)



私は、ベナンから来たマリエッタと申します。昨年の4月に米山奨学生になりました。ロータリアンの皆さんに奨学金をいただき、本当にありがとうございます。毎日、朝8時半から夜遅くまで、大学で野菜園芸学の実験や作業をしています。忙しくてアルバイトの時間もあまり無いので、奨学金を大切に使い、勉学に励んでいます。

毎月、世話クラブの例会や色々なイベントに参加していますが、どれも楽しくて、たくさんの良い人と出会えました。日本語と日本文化を学ぶ良い機会にもなっているので、すごくありがたいです。米山奨学生の制度はお金をもらえるだけでなく、日本のお父さんとお母さんのようなカウンセラーもいるので、本当によかったです。世話クラブとカウンセラーからは、温かい親睦と励ましも受けています。困っている時などに、いろんなことを助けてもらったり、教えてもらったりしています。ありがとうございます。



## ガバナーの想い

### 地区目標に込めた想い

2016年10月、長谷川年度の山形地区大会で述べたガバナーエレクト（当時）挨拶では、私は最初に「2800地区は、ロータリーをきちんとやっている!」と声高に明言しました。それは、同年7月に酒井彰ガバナー事務所から譲り受けた地区内各クラブの「年次計画書・報告書」と全国の「ガバナー月信」を何度も熟読し、そう確信していたからです。すなわち、2800地区はどのクラブも真摯にロータリーを考え学び、誠実にロータリーに取り組んでいます。もちろん、それらは他地区に劣るものではありません。RIや地区からの各種要請に対しても、クラブの身の丈に応じて、いや身の丈以上にきちんと応えているのです。そういう意味では、今年度の地区目標「美しい心、ロータリアンの矜持」は、2800地区ロータリアンの現実の姿そのものです。言い換えれば、「それを目標としましょう」ではなく、「それを誇りとしましょう」というのが地区目標に込めた私の想いです。実は、その想いこそが、今年度ガバナー月信のテーマです。

### ガバナー月信で心がけてきたこと

今年度のガバナー月信は、「我がクラブを語る」、「地区内クラブの事業紹介」、「地区委員会の各コーナー」、「青少年交換学生、米山記念奨学生、インターアクト、ローターアクトの各コーナー」など、各クラブの素晴らしさ、地区委員の優秀さと努力と心意気、地区が支える若者らの頑張り<sup>①</sup>と想いを前面に出しています。委員会やセミナーの報告、IMや周年事業の報告にしても、何があったかよりも、何に感動したか、何を皆に伝えたいかが分かるような掲載を心がけています。もちろん、地区補助金事業などの内容と採否、諮問委員会、ロータリー研究会、地区大会の報告など、知らせるべきことは正しく知ってもらえるような紙面作りも大切にしてきました。また、月信の貴重なページをMy ROTARYの扱い方、RI会長賞の内容や進捗状況に大きく割いてきたのは、「ロータリーをきちんとやっているクラブ」だからこそ、RIからの依頼・要望に応じてもらえるようにすること、そして全クラブにRI会長賞をとってもらえるようにすることが私の責務と確信しているからです。表紙の写真は、その月のガバナー月信の象徴として、2800地区の希望と志、心意気を表現することにこだわっています。ガバナーメッセージや本欄については、時宜に応じた情報や想いを通じて、地区内クラブやロータリアンの支援と意欲喚起に努めてきたつもりです。何より大事にしてきたのは、引用や受け売りではなく、全てを私自身の言葉で語る（私信）ということです。

### 月信編集者の矜持

月信の編集委員会は、（記事や原稿という）素材を最大限に活かし、見栄えも味もボリュームも最高の料理に仕上げることが仕事です。時には、記事や原稿に思いきって手を入れますが、執筆者の真意（素材）を最大限に活かすためであって、良い仕事をしていると思っています。また、ガバナー事務所には全国からガバナー月信が送られてきます。それら他地区の月信に比べれば、当地区の月信は紙質が薄く、字も小さく、モノクロ写真ばかりです。しかし、編集者一同、「少ない予算で大きな仕事」をモットーに、多大な時間と労力と心意気を無償奉仕に捧げて来ています。内容の充実さは、全国34地区、どこの月信にも勝るとも劣りません。まさに、誇りに満ちた月信です。

### 月信を読んで欲しい理由

今年度は、お金と時間を皆に負担してもらって地区セミナーは最小限の開催にとどめています。その分、ガバナー月信では各委員会からの発信、ガバナーからの発信を大幅に増やしています。それだけに、どうかガバナー月信を読んでください。そして、「美しい心、ロータリアンの矜持」に満ちた2800地区を誇りに思って欲しいのです。

### 私の使命と銘じていること

本稿の冒頭で紹介したガバナーエレクト挨拶では、その最後の締め括りで、私は次のように述べました。「2800地区は、ロータリーをきちんとやっている！ 浅学菲才の私ですが、せめてそれに応えられるガバナーになりたい」——。この言葉を私の使命（これに命を使う）と銘じ、以来、片時も忘れたことはありません。

## 2017-18年度 ガバナー賞(クラブ)の選定基準

今年度下記3分野の全てで、各々3つ以上の項目を達成したクラブへガバナー賞を贈呈します。今年度は、R Iや地区からの各種要請に対して大きな功績を残したクラブだけではなく、地道にロータリーに取り組んできたクラブにもガバナー賞が取得できるように配慮しました。次年度の地区大会において、2800地区の全クラブにガバナー賞を贈呈できればガバナー冥利です。

### 分野1 (3つ以上を達成)

1. R I会長賞を取得したクラブ
2. 地区補助金またはグローバル補助金または東日本大震災避難者等事業計画を申請し、実施したクラブ
3. 植樹による社会奉仕事業を実施したクラブ
4. 11月30日時点の会員全員が、ロータリー財団の「年次寄付1人50ドル以上」を達成したクラブ
5. 米山記念奨学会の「会員全員による普通寄付(上期2500円/人、下期2500円/人)」を達成したクラブ

### 分野2 (3つ以上を達成)

1. 以下の①~④のうち、少なくとも1つを満たすクラブ
  - ①昨年7月1日と本年7月1日を比較して、会員数が純増しているクラブ
  - ②年度内に、2名以上の会員が新たに入会したクラブ
  - ③年度内に、女性の会員が新たに入会したクラブ
  - ④年度内に、40歳未満の会員が新たに入会したクラブ
2. 以下の①~②のうち、少なくとも1つを達成したクラブ
  - ①ロータリー財団の「会員全員によるポリオプラス基金1人10ドル以上」
  - ②米山記念奨学会の「会員全員による特別寄付(寄付額不問)」
3. ポリオ関連の募金活動または支援または広報の地域イベントを開催したクラブ
4. 3月の「クラブ奉仕・ロータリー情報・職業奉仕」合同セミナーに5人以上、またはクラブ会員の20%以上が登録・参加したクラブ
5. 6月のR Y L Aに1人以上の若者が登録・参加したクラブ

### 分野3 (3つ以上を達成)

1. 以下の①~⑤のうち、少なくとも1つを満たすクラブ
  - ①青少年交換学生のスポンサーおよびホストクラブ
  - ②米山奨学生の世話クラブまたはサブ世話クラブ
  - ③インターアクトクラブのスポンサークラブ
  - ④ローターアクトクラブの提唱クラブ
  - ⑤ロータリー地域社会共同隊の提唱クラブ
2. 2800地区の以下の役職者のうち、少なくとも1人を出しているクラブ
  - ①ガバナー補佐
  - ②地区委員会の委員長または委員
3. 2800地区の地区委員会の委員長または委員による例会卓話を2回以上、実施したクラブ
4. テーマに基づいたフォーラム形式の会員懇談例会を2回以上、実施したクラブ
5. クラブの事業がメディア(新聞、市報、町報等)に2回以上、紹介されたクラブ

## R I 会長賞の進捗状況

	クラブ名	必須1	必須2	分野1	分野2	分野3
第1ブロック	酒田	終了		2▲	1	3
	酒田東	終了	終了	3▲	⑥	⑦
	酒田中央	終了		④	2	3
	酒田スワン	終了	終了	3	④	1
	酒田湊	終了		1▲	1	
第2ブロック	鶴岡	終了	終了	⑤	3	2
	鶴岡西	終了	終了	3▲	3	⑧
	余目	終了	終了	④		⑥
	立川	終了	終了	3	3	⑥
	鶴岡東	終了	終了	④	2	2
	鶴岡南	終了	終了	④	④	⑥
第3ブロック①	天童	終了		④	1	2
	東根	終了	終了	3	1	④
	天童東	終了	終了	④	3	④
	天童西	終了		1★▲	1	
	東根中央	終了		3	1	④
	村山			★▲	1	
第3ブロック②	新庄	終了	終了	④	2	⑤
	尾花沢			★▲	2	
	最上	終了	終了	④	3	3
	尾花沢中央	終了	終了	④	2	⑥
	村山ローズ	終了	終了	④	2	
	新庄あじさい	終了		1★▲	1	
第4ブロック	寒河江	終了	終了	3	④	⑦
	大江	終了	終了	3		2
	河北	終了		3	④	⑥
	寒河江さくらんぼ	終了	終了	3	④	⑦
	西川月山	終了	終了	3	1	2

	クラブ名	必須1	必須2	分野1	分野2	分野3
第5ブロック①	山形	終了		④	1	2
	山形北	終了	終了	⑤	④	④
	山辺	終了		★▲	2	
	山形南	終了	終了	3	④	④
	中山		終了	3	3	④
第5ブロック②	山形西	終了		★▲	1	
	上山	終了		2★	1	1
	山形東	終了		2		2
	山形中央	終了		2▲	1	
	山形イブニング	終了		2▲	2	2
第6ブロック①	米沢	終了	終了	⑤	④	⑥
	米沢上杉	終了	終了	⑤	⑤	⑤
	高畠	終了	終了	3	2	⑥
	米沢中央	終了	終了	⑥	⑤	3
	米沢おしょうしな	終了		3	2	2
第6ブロック②	長井	終了	終了	2▲	3	⑤
	南陽	終了		2★▲	1	
	白鷹	終了		★▲	1	
	小国	終了		1★▲	3	
	南陽東	終了	終了	⑤	⑤	⑥
	長井中央			3▲	2	3
南陽臨雲	終了		2		⑤	

(2018.2.21調査)

- \* 必須1：7月と1月のR I 人頭分担金の完納
- \* 必須2：奉仕プロジェクトの時間と金額の記載
- \* 分野1・2・3 → 各分野とも4項目以上の達成が必要  
(分野2と3は、達成しているのに登録していないクラブが多いです)

- ・上表で★のついているクラブ：分野1「①少なくとも10の目標設定が未登録」のクラブ  
→ 月信11月号3ページ「ガバナーの想い」を参照の上、登録してください
- ・上表で▲のついているクラブ：分野1「②クラブ戦略計画の立案・更新にマーク未記入」のクラブ  
→ 早急に「はい」のマークをしてください
- ・分野1の会員増強が難しいクラブは、「⑦ロータリー地域社会共同隊」を検討しましょう → 月信2月号3ページ参照
- ・ロータリークラブ・セントラル「目標設定・確認センター」以外に、会員コーナーの「ロータリーショーケース」にも記入が必要な場合があります → 月信7月号6～7ページ、11月号3ページ「ガバナーの想い」参照
- ・ロータリークラブ・セントラル「目標設定・確認センター」の下段にある「奉仕活動」にも、必要事項を記入してください

2017-2018 クラブ会員数／出席率											
ブロック	クラブ名	2017.7.1		2018.1.31			年初からの増減数				累計出席率
		会員数 (女性会員数)		会員数 (女性会員数)	出席率	増 (女性会員数)	減 (女性会員数)				
第1ブロック	酒田	27	(3)	27	(3)	80.56	1	(0)	1	(0)	72.24
	酒田東	35	(5)	36	(5)	75.00	1	(0)	0	(0)	84.24
	酒田中央	37	(0)	39	(0)	78.43	2	(0)	0	(0)	82.60
	酒田スワン	15	(6)	15	(6)	85.71	0	(0)	0	(0)	83.93
	酒田湊	15	(3)	15	(3)	95.56	0	(0)	0	(0)	94.47
第2ブロック	鶴岡	28	(5)	31	(5)	82.46	3	(0)	0	(0)	85.16
	鶴岡西	33	(4)	30	(4)	78.16	1	(0)	4	(0)	79.52
	余目	29	(1)	31	(1)	81.67	3	(0)	1	(0)	77.32
	立川	14	(0)	12	(0)	76.67	0	(0)	2	(0)	87.31
	鶴岡東	28	(1)	28	(1)	83.72	0	(0)	0	(0)	85.16
第3ブロック	鶴岡南	20	(3)	20	(3)	83.33	1	(0)	1	(0)	79.61
	天童	45	(3)	46	(3)	95.47	1	(0)	0	(0)	95.35
	東根	34	(1)	33	(1)	80.00	0	(0)	1	(0)	81.85
	天童東	47	(0)	53	(0)	93.62	6	(0)	0	(0)	86.68
	天童西	18	(2)	19	(2)	82.46	2	(0)	1	(0)	86.23
	東根中央	45	(3)	45	(3)	86.00	1	(0)	1	(0)	81.42
	村山	10	(0)	10	(0)	98.00	0	(0)	0	(0)	99.00
	新庄	14	(2)	15	(2)	88.33	1	(0)	0	(0)	86.98
	尾花沢	19	(0)	17	(0)	87.03	1	(0)	3	(0)	87.43
	最上	22	(1)	24	(2)	60.95	2	(1)	0	(0)	52.73
	尾花沢中央	16	(1)	17	(1)	89.71	1	(0)	0	(0)	88.22
第4ブロック	村山ローズ	18	(5)	20	(5)	87.00	2	(0)	0	(0)	80.43
	新庄あじさい	15	(0)	16	(0)	87.50	1	(0)	0	(0)	88.29
	寒河江	52	(2)	51	(2)	83.57	2	(0)	3	(0)	91.73
	大江	16	(1)	17	(1)	92.46	1	(0)	0	(0)	97.08
	河北	29	(0)	29	(0)	86.36	1	(0)	1	(0)	84.21
第5ブロック	寒河江さくらんぼ	40	(3)	40	(3)	91.90	0	(0)	0	(0)	85.89
	西川月山	13	(0)	13	(0)	72.22	0	(0)	0	(0)	78.34
	山形	90	(2)	93	(2)	100.00	5	(0)	2	(0)	100.00
	山形北	58	(0)	64	(2)	92.31	9	(2)	3	(0)	94.35
	山辺	24	(0)	24	(0)	95.65	1	(0)	1	(0)	97.36
	山形南	53	(2)	54	(2)	96.02	2	(0)	1	(0)	95.94
	中山	12	(0)	13	(0)	78.85	1	(0)	0	(0)	77.34
	山形西	101	(0)	101	(0)	95.64	3	(0)	3	(0)	96.02
	上山	15	(3)	16	(3)	77.08	1	(0)	0	(0)	70.39
	山形東	32	(1)	29	(1)	91.26	1	(0)	4	(0)	90.84
	山形中央	40	(3)	41	(3)	93.00	1	(0)	0	(0)	95.07
	山形イブニング	30	(1)	30	(1)	72.84	0	(0)	0	(0)	66.67
	第6ブロック	米沢	59	(8)	61	(9)	86.89	4	(1)	2	(0)
米沢上杉		66	(3)	70	(4)	99.05	6	(1)	2	(0)	99.06
高畠		49	(3)	47	(3)	73.05	1	(0)	3	(0)	73.02
米沢中央		38	(4)	38	(5)	98.25	1	(1)	1	(0)	98.44
米沢おしょうしな		28	(3)	28	(3)	89.29	0	(0)	0	(0)	76.28
長井		29	(1)	29	(1)	76.16	1	(0)	1	(0)	76.23
南陽		12	(1)	14	(1)	87.18	2	(0)	0	(0)	84.86
白鷹		20	(0)	19	(0)	80.70	0	(0)	1	(0)	83.52
小国		17	(0)	18	(0)	86.07	1	(0)	0	(0)	84.10
南陽東		33	(2)	35	(2)	68.79	3	(0)	1	(0)	71.97
長井中央		18	(1)	19	(1)	90.00	2	(0)	1	(0)	81.42
南陽臨雲	30	(3)	29	(2)	74.00	0	(0)	1	(1)	73.59	
合計	1588	(96)	1621	(101)	85.32	79	(6)	46	(1)	84.77	



## ロータリー情報のコーナー 〈 7 〉

ロータリー情報小委員長 野川 勝弘



日本に初めてロータリークラブが生まれたのは、最初のシカゴクラブ誕生（1905年2月23日）から15年後の1920年（大正9年）10月20日のことである。それは、米山梅吉と三井物産の福島喜三次との米国ダラスでの出会いが契機となっている。

福島喜三次は佐賀県有田の出身で、1881年（明治14年）10月10日の生まれである。長崎商業学校から東京高等商業学校（現一橋大学）に進み、明治37年卒業。東京高等商業学校では、終始首席だったという。卒業と同時に三井物産に入社し、門司支店に勤務。翌年5月にニューヨークに転勤し、オクラホマ、ヒューストン、さらにダラスで勤務した。福島の下でドイツ人のウィリアムはダラスRCの会員だったが、彼が帰国した為、福島がダラスRCの会員となった。1917年（大正6年）、秋の頃である。

その大正6年9月13日、米山梅吉は政府特派財政経済委員に任命され、米国に向かった。当時49才で、三井銀行の常務取締役であった。米山が大正7年の正月を福島の家で過ごした時、ロータリーの話が出たかもしれないが詳細は不明である。

福島は1919年（大正8年）12月に帰国の途について、帰国に際し、ダラスRCの会員から日本にもロータリークラブを作るように勧められる。そして翌1920年（大正

9年）2月28日付で、シカゴのロータリークラブ国際連合会から東京にロータリークラブを作るべく、特別代表を委嘱された。福島は38才で本店に帰ってきて、三井物産の副支配人、いわば勤め人であった。創立メンバーを集めるには大変だと考えたのであろう。ダラスで会った米山に、その実質的な権限を託したという。

1920年（大正9年）8月、米山は自らが選定したであろう18名を集めてロータリー創設の説明をした。場所は、東京銀行集会所である。その後、9月1日に設立準備委員会を開き、10月20日に東京銀行集会所で創立総会を開いた。この時の出席者は24名中14名で、米山は東京ロータリークラブ初代会長に選任される。福島は幹事となり、翌21日に創立総会の終了をロータリー本部に報告した。日本のロータリークラブ第1号、東京ロータリークラブの誕生である（RIによる正式認証は1921年（大正10年）4月1日、登録番号855番）。

米山は、メンバーを選ぶにあたって高い基準を設けた。すなわち、国家的な人物、国際的な視野を有する人物というもので、英語ができることが前提であった。この基準は、次の大阪ロータリークラブ、その後のロータリークラブの創立にも受け継がれた。

（参照：米山梅吉記念館資料「米山梅吉 そのロータリーとのかかわり」）

## 新入会員紹介



吉田 光範

所属クラブ/小国  
職業分類/僧侶  
入会日/2018.1.10



阿部 伸

所属クラブ/酒田中央  
職業分類/タイヤ販売  
入会日/2018.1.12



今井 洋介

所属クラブ/酒田中央  
職業分類/梱包業  
入会日/2018.1.12



前田 英樹

所属クラブ/酒田中央  
職業分類/クリーニングサービス  
入会日/2018.2.2



佐藤 一則

所属クラブ/酒田中央  
職業分類/新聞配布  
入会日/2018.2.2



峯田 勝枝

所属クラブ/米沢中央  
職業分類/生花店  
入会日/2018.2.2



相田 日出夫

所属クラブ/高島  
職業分類/総合事務員  
入会日/2018.2.8



本多 作之助

所属クラブ/米沢上杉  
職業分類/住宅建設  
入会日/2018.2.13

## 表彰関係



第6回米山功労者  
マルチプル

新関 彌一郎

(天童東 RC)



PHF+3

高橋 繁夫

(天童東 RC)



PHF+1

佐藤 豊

(天童東 RC)



PHF+1

水戸部 陽一

(天童東 RC)



PHF

斎藤 幸雄

(天童東 RC)



PHF+6

上林 直樹

(酒田中央 RC)



Benefactor

細谷 伸夫

(山形西 RC)



第14回米山功労者  
メジャードナー

PHF+4

鈴木 隆一

(山形西 RC)



PHF+1

半田 稔

(山形西 RC)

## ガバナーの想い

### 三木明RI理事エレクトのメッセージ

“1月14日からアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催された国際協議会では、世界の539地区、日本の34地区のガバナーエレクトとパートナーが一堂に会し、来るべき新しい年度に向けて研修を重ねました。バリー・ラシン国際ロータリー会長エレクトから発信された力強いテーマをしっかりと胸に受け止め、新たなロータリーの世界に思いを馳せておられることでしょう。私たちロータリアンは、会員基盤を強化し、柔軟なクラブ運営をすることによって、より多くの理解者を増やす必要があります。ロータリーの素晴らしい理念を一人でも多くの人々と共有し、私たちが目指す究極の世界平和を手になさなければならないからです。また、理念を求めると同時に行動もしなければなりません。皆様方お一人おひとりがロータリーの伝道者であります。ロータリーが活性化する、そのことのために更なる歩みを進めていただきたいと思います。”

### 「クラブ奉仕・ロータリー情報・職業奉仕」合同セミナー

既にご案内のように、来る3月17日(土)に石黒慶一RI理事、三木明RI理事エレクトを講師にお迎えし、上記セミナーを開催いたします。次年度、世界で17人しかいないRI理事のうちのお二人から2800地区で講演していただくのは、とても光栄なことであり、貴重な機会でもあります。仲介をくださった石黒RI理事と藤川享胤PGに、心から感謝申し上げます。ぜひ多くの方から参加していただき、有意義な時間をお過ごしいただければと存じます。

# 3月の 地区スケジュール

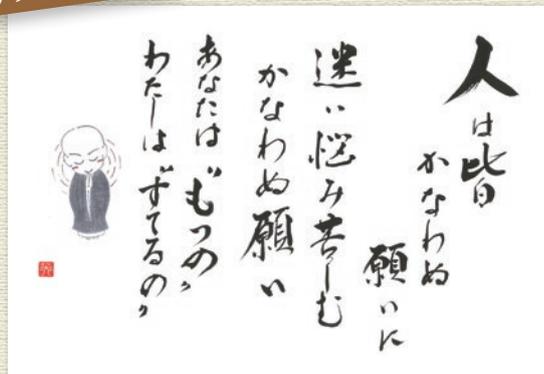
3/1 木	
2 金	
3 土	会長エレクト研修セミナー（酒田）
4 日	補助金管理セミナー（酒田）
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	↑ 地区大会（兵庫：神戸西RC）
11 日	↓
12 月	
13 火	
14 水	
15 木	RYLA会議
16 金	
17 土	クラブ奉仕・R情報・職業奉仕 合同セミナー（寒河江市）
18 日	九里茂三パストガバナーお別れの会（米沢）
19 月	
20 火	
21 水	春分の日
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	第3回ローターアクト会長幹事会
26 月	↑ ゾーン会員基盤向上セミナー（東京）
27 火	↑ 青少年交換スプリングキャンプ（水沢市）
28 水	↓
29 木	↓
30 金	
31 土	
4/1 日	
2 月	
3 火	
4 水	
5 木	
6 金	
7 土	米山奨学生オリエンテーション& 米山カウンセラー説明会（山形）
8 日	◎青少年交換小委員会（寒河江）
9 月	
10 火	



## 月山志津温泉「雪旅籠の灯り」

今年で13回目となる、月山志津温泉「雪旅籠の灯り」が、2月23日及び3月2日からの週末に開催された。今年は例年以上の6mにも及ぶ積雪の中、製作を手伝った4校の大学生たちの頑張りに拍手をおくりたいと思います。

## 今月の言葉



# Rotary



### ◇ガバナー事務所

〒991-0041 寒河江市寒河江鷹ノ巣7番地  
TEL: 0237-85-1882 FAX: 0237-85-1883  
E-mail: ri2800suzuki@helen.ocn.ne.jp

### ◇地区事務所

〒994-0034 天童市本町2-1-31 天童セントラルホテル2F  
TEL: 023-687-0208 FAX: 023-687-0209  
E-mail: ri2800@muse.ocn.ne.jp

### ◇ホームページ

国際ロータリー山形 検索   
<http://www.rid2800.jp>

